



❖ 長期休暇における情報セキュリティ対策 ～家庭の利用者向け～ ❖

長期休暇の時期は、「システム管理者が長期不在になる」、「友人や家族と旅行に出かける」等、いつもとは違う状況になりやすく、ウイルス感染や不正アクセス等の被害が発生した場合に対処が遅れてしまったり、SNSへの書き込み内容から思わぬ被害が発生したり、場合によっては関係者に対して被害が及ぶ可能性があります。このような事態とならないよう、以下の対策を実施してください。

○ 家庭の利用者向け

～ 長期休暇中の対策 ～

1. 行楽等の外出前や外出先でのSNS投稿に注意

SNSで旅行の計画を書き込んだ場合、内容によっては長期休暇中に不在であることが知られてしまう可能性があります。また、撮影した写真をSNSに投稿したことでトラブルに発展することもあるため、投稿内容や投稿範囲に注意してください。

2. SNSのやりとりによるトラブルに注意

SNSで知り合った人物から言葉巧みに不正なアプリのインストールを持ちかけられ、そのアプリでプライベートな動画を撮影したことが原因で、セクストーション(性的脅迫)の被害に遭うケースが発生しています。第三者に見られたら困るプライベートな写真や動画を撮影させたり、そのデータを送ったりしてはいけません。

3. 偽のセキュリティ警告に注意

ウェブサイトの閲覧中に、ウイルスに感染している、パソコンが壊れる等の偽の警告に遭遇する場合があります。表示されたメッセージに従って、操作したり、電話をかけて遠隔操作を許してしまったりすると、最終的に有償ソフトウェアの購入や有償サポート契約へ誘導されます。長期休暇中は、いざというときに相談できる窓口が休止となっている場合があるため、具体的な手口と対処方法を確認して被害に遭わないように注意してください。利用しているセキュリティソフトによる警告ではない場合、特にインターネット利用中にブラウザ画面上に表示される警告は偽物である可能性が高いと考えられます。あらかじめ、セキュリティソフトの本物の警告画面を確認しておいてください。もし、偽の警告画面が表示された場合は、画面を閉じてください。画面が消せない場合は、ブラウザを強制終了するか、パソコンを再起動してください。

4. メールやショートメッセージ(SMS)、SNSでの不審なファイルやURLに注意

実在の企業などを騙った不審なメールに関する相談が多く寄せられています。こういったメールの添付ファイルを開いたり、本文中のURLにアクセスしたりすることでウイルスに感染したり、フィッシングサイトに誘導されたりしてしまいう可能性があります。また、不審なサイトへ誘導するURLは、ショートメッセージ(SMS)で送られてくる場合や、SNSで投稿されている場合もあります。長期休暇中は、いざというときに相談できる窓口が休止となっている場合があるため、具体的な手口と対処方法を確認し被害に遭わないように注意してください。パソコンがウイルスに感染した疑いがある場合はパソコンの初期化を検討してください。フィッシングサイトで情報を入力してしまった場合は、パスワードの変更、カード会社への連絡等、入力した情報の悪用を防ぐ対応をしてください。

～ 長期休暇明けの対策 ～

1. 修正プログラムの適用

長期休暇中にOS(オペレーティングシステム)や各種ソフトウェアの修正プログラムが公開されている場合があります。修正プログラムの有無を確認し、必要な修正プログラムを適用してください。

2. 定義委ファイルの更新

長期休暇中に電源を切っていたパソコンは、セキュリティソフトの定義ファイル(パターンファイル)が古い状態のままになっています。電子メールの送受信やウェブサイトの閲覧等を行う前に定義ファイルを更新し、最新の状態にしてください。

- 「IPA(独立行政法人 情報処理推進機構) ホームページ」より-

＊ 今月の豆知識 ＊

～ 『新500円硬貨』、2021年11月1日より流通開始 ～

2021年11月1日より、新500円硬貨が流通開始になりました。

現行の500円硬貨以来、21年ぶりのデザイン刷新となり、様々な偽造防止技術が施されているのが特徴です。

- ＊ 大きさは変わらず、重さは、現硬貨より0.1グラム重い、7.1グラム
- ＊ 素材は、現硬貨と同じニッケル黄銅に白銅などを加えた2色3層構造
- ＊ 側面に異形斜めギザ
- ＊ 表側の縁に肉眼で読めないほどの微細文字を加工（『500YEN』（左右2か所）・『JAPAN』（上下2か所））

2021年度は、2億枚の発行を予定しており、徐々に旧500円硬貨を置き換えていく予定だそうです。

キャッシュレス決済の影響であまり硬貨を使わない方も増えていますが、新技術の詰まった新500円硬貨が手元にくるのも近いかもしれませんね。





赤松事務機株式会社
代表取締役 片松 保佳

『社長のつぶやき』

11月になりました。先月号の冒頭ではスーツの上着を着るのも暑いと記しましたが、1ヶ月経ってみると朝晩は秋を乗り越えて冬らしい寒さとなりました。今年は秋はいつあったんだろう？と思出すのも難しいくらい過ごしやすい時期は短かったように感じます。寒暖の差が激しい時節柄ですが、皆様お変わりございませんでしょうか？

先日、作家であり僧侶でもある瀬戸内寂聴さんが99歳で逝去されました。テレビのニュース番組でその一報が流れ、様々な方が思い出を語っていらっしゃいました。その中の一人、役者の梅沢富美男さんがコメントの最後に「寂聴さんの発する言葉で非常に多くの方が救われたと思います」とおっしゃっていました。そこで寂聴さんが残された言葉やインタビュー映像を調べてみると梅沢さんが言う通りだなとつくづく感じました。

「たくさん経験をしてたくさん苦しんだほうが、死ぬときに、ああよく生きたと思えるでしょう。逃げていたんじゃないあ、貧相な人生しか送れませんわね。」

「生きるということは、死ぬまで自分の可能性をあきらめず、与えられた才能や日々の仕事に努力しつづけることです。」

「理解できないと投げ出す前に、理解しようと相手と同じレベルに立って感じることを心がけましょう」

「どんなに好きでも最後は別れるんです。どちらかが先に死にます。人に逢うということは必ず別れるということなんです。別れるために逢うんです。だから逢った人が大切なのです。」

「人間として生まれると、他の動物にはない誇りが心に生じるのだと思います。学校の成績より、他者の苦しみを思いやれる想像力のある人間こそ素晴らしいのです。」

「人間は、元々そんなに賢くありません。勉強して修行して、やっと賢くなるのです。」

「生かされているのですから素直に有り難いと思ひましょう。生きている値打ちがあるから生かされているのですもの。」

「私は多く傷つき、多く苦しんだ人が好きです。挫折感の深い人は、その分、愛の深い人になります。」

寂聴さんが残された数多くの言葉の一部です。ご興味を持たれた方はお調べ下さい。本当に慈愛に満ちた方だと思います。そして、インタビュー映像の寂聴さんは何とチャタリングだったか！本当に素敵に見えました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

IT用語

知っておいて損はしない！かも・・・

■ ウェビナー ■

『ウェビナー』とは、ウェブ(Web)とセミナー(Seminar)を合わせた造語のことで、ウェブセミナーやオンラインセミナーとも呼ばれています。

『ウェビナー』のメリット

- 手軽に開催して参加できる
- 時間や場所に縛られない
- 大人数が参加できる

『ウェビナー』のデメリット

- 通信トラブルのリスク
- 参加者側の集中力が切れやすく、離脱しやすい
- 主催者と参加者の親睦は深めにくい

弊社では、情報セキュリティ対策商品、UTM(統合脅威管理)等の取扱いをしております！
HPでも紹介しておりますのでぜひご覧頂ければと思います!!!
対策は早目にしましょう！

